

平成30年度全体事業・活動報告

実施日：平成30年4月1日～平成31年3月31日

		内 容	人数	主 催
4	19,27	イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン（調整会）	1	イオン
	29	伊勢原市身体障害者福祉協会総会出席	1	身障
5	10	監査	5	当会
	15	伊勢原ひとり親福祉協会総会出席	1	ひとり親
	20	理事会	10	当会
	23	総会資料作り	5	
	25	伊勢原市ボランティア連絡協議会<第32回通常総会>	4	ボラ協
	26	地域福祉を考える会 第14回総会（出席47, 委任状35出席）		当会
	30	いせはら災害ネットワーク総会	2	災害ネット
6	27	辻堂法務局（手続き）	1	
7	3	辻堂法務局（手続き）	1	
	23	いせはら災害ネットワーク 募金活動協力	7	社協
	30	「かながわ生活困窮者自立支援ネットワーク」研修会(座間)	1	神奈川県
	2	第2回子どもの居場所づくりセミナー（厚木）	1	神奈川県
8	18	緑友会[納涼まつり]	2	緑友会
9	18	食品衛生講習会（道灌まつり）	1	市
	26	二ノ宮町茶屋・川匂社協部会「福祉研修視察」来訪	20	
	27	伊勢原・福祉のまちづくりを進める会 定例総会	2	進める会
10	4	パルシステム神奈川ゆめコープ 審査会	1	ゆめコープ
	10	伊勢原比々多地区民生児童委員来訪「子ども支援について」	5	
	13, 14	第51回伊勢原道灌まつり模擬店参加		市
	19	車いす体験教室(成瀬小)伊勢原・福祉のまちづくりを進める会		
	19	第12回「かながわ子ども・子育て支援大賞」候補者公開プレゼンテーション	2	神奈川県
11	7	第2回かながわ子どもみらい応援団・フォーラム（厚木）「すべての子どもを大切に育てる子どもの貧困対策」	1	神奈川県
	16,17	第43回農業まつり・サポセンまつり参加	30	
	26	車いす体験教室(大田小)伊勢原・福祉のまちづくりを進める会	2	
	30	第12回「かながわ子ども・子育て支援大賞」草の根賞受賞	1	神奈川県
12	11	年末助け合い街頭募金協力	4	社協
	19	かながわ子どもみらい応援団・フォーラム 地域交流ネットワーク形成のための交流会（小田原）	1	神奈川県
1	15	社会福祉協議会 会長表彰式	2	社協
3	17	「JTNPO助成事業」審査のため こども食堂来訪	2	
	22	かながわボランタリー活動推進基金 奨励賞表彰式出席	2	神奈川県

<その他の活動>

- ◇第43回農業まつり実行委員会 会議：4回
- ◇サポセンフェスタ実行委員会：2回
- ◇市民活動サポートセンター協議会：6回
- ◇第51回道灌まつり模擬店打ち合わせ会：2回
- ◇伊勢原市社会福祉協議会 登録団体調整会：2回
- ◇伊勢原市男女共同推進委員会議 3回
- ◇伊勢原市社会福祉協議会 成年後見権利擁護サポート連絡会：3回
- ◇人を対象とする味* ット研究開発及び実証試験に関する倫理審査会：4回
- ◇伊勢原市生活福祉課と学習支援について話し合い：3回
- ◇ニュースター発行 (6, 8, 10, 1月)計4回

未来セミナー1「読書会」

<活動方針>

地域での暮らしや地域福祉のベースになる様々な社会動向を読書を通じ
いろいろな立場から考え合う場所。



第1回	6/23 (土)	・・・	「人は「いじめ」をやめられない」	中野信子著	12名
第2回	9/1 (土)	・・・	「結果を出せる人の脳の習慣」	茂木一郎著	12名
第3回	11/24 (土)	・・・	「半分生きて、半分死んでいる」	養老猛司著	10名
第4回	2/16 (土)	・・・	「老いと記憶」	増本康平著	12名

活動場所：社協会議室

☆宮森孝史アドバイザーの協力で4冊の本と研修会をもとに意見交換をし、共に考える時間を共有できました。

未来セミナー2「けんこう♡つなぐ♡うたごえ」

<活動方針>

童謡・昭和の歌謡をみんなで唄い・パタカラ体操や笑うヨガ等で体を動かし
心身ともに楽しいひと時を過ごすことを目的とする。



活動場所：いせはらシティプラザ内

時 間：10時30分～12時

参加 費：300円

開催数：11回

参加数：4/14(71名)、5/19(60名)、6/16(81名)、7/21(65名)、9/1(66名)
10/3(63名)、11/3(57名)、12/15(65名)、1/19(66名)、2/2(69名)
3/16(70名) 参加総数(733名)

指導者：古川 恵子 氏

平成30年度 友愛電話活動報告

30年度も一人暮らしの方や日中独居で話し相手がない方等に、社会福祉協議会の協力を得て電話サービスを実施した。

1 活動日 ①月曜日午前・②月曜日午後・③木曜日午後

2 利用者の実人員

30年 4月 18名

31年 3月 22名

※年度内新規6名 死亡2名 休止2名

休止：本人と話し合い、しばらくお休みにした。

<電話活動状況>

月	実人員	月曜日午前		月曜日午後		木曜日 午後		ホウ延数
		回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	
4	18	4	25	4	28	4	13	32
5	17	4	28	4	26	3	9	30
6	17	4	28	4	28	4	12	31
7	17	4	26	4	26	4	12	32
8	18	4	26	4	26	4	16	31
9	19	2	13	2	16	4	16	21
10	20	4	28	4	36	4	16	31
11	20	3	20	4	36	4	16	26
12	20	3	19	3	27	3	12	24
1	20	3	19	3	27	3	12	24
2	21	3	21	3	27	4	16	24
3	22	4	24	4	39	3	12	30
計		42	277	43	342	44	162	336

※ 活動日に利用者が通院や外出、入院等がわかっている方には電話をしなかった。

※ 利用申し込みがあったが、本人の希望により保留となっている人がいる 1名

3. コーディネーター会議

4/12 9/11 10/30 31.1/22 2/26

4. 現任交流会 5/31 参加者15名 31.3/19 参加者12名

(内容) 会員の話し合い。ビンゴゲーム

5. 初級電話講習会開催 11/12 参加者12名(新規4名)

6 利用者に暑中見舞、年賀状を出した。皆さんに喜ばれた。

7 利用者を増やすために市や社会福祉協議会に協力を依頼した。

○ 市内の店舗数か所にチラシを掲示してもらった

8. ボランティア登録者数 24名(31年3月現在)

平成30年度 子育てひろば「きらきら」活動報告

<活動方針>

お母さんとお子さんが、共にゆったりとした雰囲気の中でおしゃべりしたり、子育て中の悩み等を共有し、子育て中のお母さんの息抜きができるひろば

<男女年齢別・全体数>

月	男子					女子					子供数	保護者	サポーター	全体数
	0才	1才	2才	3~5	計	0才	1才	2才	3~5	計				
4	3	4	3	1	11	1	8	3	0	12	23	21	21	65
5	4	3	2	1	10	5	7	3	0	15	25	26	19	70
6	8	6	0	2	16	2	5	5	1	13	29	26	17	72
7	2	5	6	6	19	10	5	7	4	26	45	41	18	104
8	6	5	2	12	25	7	4	10	11	32	57	43	26	126
9	3	2	3	2	10	0	0	5	0	5	15	15	16	46
10	6	3	3	1	13	7	6	6	0	19	32	31	24	87
11	5	8	4	4	21	8	9	4	1	22	43	34	19	96
12	8	3	2	6	19	5	5	3	3	16	35	31	17	83
1	11	5	2	2	20	7	1	7	2	17	37	31	12	80
2	2	8	2	1	13	11	9	5	1	26	39	38	19	96
3	5	6	2	2	15	12	7	9	1	29	44	35	13	92
計	63	58	31	40	192	75	66	67	24	232	424	372	221	1017

◇開設日：平成17年7月

◇活動日：火・木曜日（AM10:00~12:00）◇シティプラザふれあいホール

◇活動数：火曜日26回・木曜日18回

30年度全体数1,017名（44回）・29年度全体数645名（41回）

◇サポーター調整会議 4回

◇リフレッシュ、すこやか体操/ヨガ・手形づくり 毎月1回

◇12月クリスマス（リースづくり）・3月（折り紙でお雛様づくり）

◆外部ボランティア協力

○おはなしバルーン 年2回（紙芝居・わらべ歌・手遊び）

○おはなしゆうびん 年2回（人形劇・紙芝居等）

○生協ユークラブ 年2回（おやつ選び方等・試食）

○ヨガ体操 月1回（山戸 浩子指導）

◇子育てサポーター 登録11名（31年3月現在）

◇市社協 小地域活動推進事業助成金（子ども傷害保険・講師謝礼・会場代・消耗品購入等）

◇市子ども部子育て支援課共催事業

平成30年度 成年後見部会 活動報告

障害があっても高齢になっても、住み慣れた地域で暮らし続けたいとは誰もが望むことです。この思いを実現するため、権利擁護と幸せの実現を目的にする成年後見制度が欠かせない仕組みの一つとなっています。

こうした状況の下、成年後見部会は伊勢原市や近隣の地域で信頼される法人後見人を目指し、将来想定されるニーズに適切に応えられるよう、内部研修及び外部研修に積極的に参加し資質向上に努めました。

受任の状況

平成18年度に5名受任にてスタート受任し、その後、現在（31年3月現在）18名を受任しています。内訳は、後見7名、保佐9名、任意2名です。平成30年度は、死亡による終了が2名（後見1、保佐1）、新規受任3名（後見1名、保佐1名、任意1名）その他、保佐人より身上保護に関し、復任として1名受任しました。

(1) 年代別（31年3月現在）

19代～30代	7人
40代～50代	7人
60代	1人
70代	2人
80代	1人

(2) 性別

女性 11人、男性 7人

1. 担当者の状況（31年3月現在）

会員後見人 14人 事務局（職員・後見兼務）2人

2. 活動内容

(1) 身上保護

毎月最低1回のご本人及び関係施設等担当者との面談。家族会、個別支援計画作成時及び面談等への参加。各種事案に関する諸手続き、話し合い等。施設行事への参加。GH入居契約、住所変更に伴う諸手続き。インフォームドコンセントへの同席、受診の付き添い。

(2) 財産管理

ご本人からの個別相談対応。銀行口座の開設・変更手続。預貯金の入出金管理、日常生活費（小遣い含む）の管理、公共料金の支払い。本人名義の土地家屋の処分に関する各種の手続き。市町村への報告事務、助成金申請。家庭裁判所への報酬付与申立書の提出（定期報告）。

(3) 相談業務

・相談業務

成年後見制度利用開始に伴う、相談

相談受付：5件（延べ相談数：30回）

・ミニ説明会

「成年後見制度について」 開催件数：3件

(4) その他

伊勢原市社会福祉協議会が主催する成年後見・権利擁護サポート連絡会、行政・社協地域福祉推進担当者連絡会への参加。月次定例会、事例検討の実施、各種打合せ等。

4 かながわ NPO 法人後見連絡会への参加

「かながわNPO法人後見連絡会」は、平成23年9月から成年後見制度の普及促進を図るため、神奈川県社会福祉協議会が主催し、現在、当法人以外に法人後見業務を実施している10団体が参加して、後見業務などについての情報交換や事例検討等を行い、情報の共有化などの技術向上などに努めています。

〈神奈川 NPO 法人後見連絡会〉10団体

よこはま成年後見つばさ（横浜市保土ヶ谷区）
かわさき障がい者権利擁護センター（川崎市川崎区）
湘南鎌倉後見センターやすらぎ（鎌倉市）
湘南ふくしネットワークオンブズマン（茅ヶ崎市）
NPO 法人成年後見湘南（平塚市）
ジョイサポート（座間市）
総合福祉サポートセンターはだの（秦野市）
成年後見センターかけはし（大和市）
成年後見 横浜やまびこ（横浜市中区）
認定 NPO 法人地域福祉を考える会（伊勢原市）

5 30年度の事業

(1) 会員後見人研修会の開催

①30年度は会員後見人のスキルアップを目的に、部会長を中心に講師として内部研修を中心に月例で研修を実施しています。

(2) その他

- ①2名の被後見人が逝去され、死後事務を実施しました。
- ②内科領域3名が入院し、退院後は順調に回復しています。
- ③保佐人の財産管理以外の身上保護に関し、復任を1名受任。
- ④10月に被後見人(男性1名)が自動車整備士の国家試験合格

平成30年度 児童コミュニティクラブ会議・活動まとめ

平成31年3月31日

	活 動	実 施 日 な ど	集 計
1	ミーティング *予定 各月2回	伊勢原1 22回 伊勢原2 22回 比々多1 18回 比々多2 19回	81回
2	代表会議 *◎記は市の会議	3/12・6/6・7/3 (ミニ代表者会議)・2/4 ◎7/10・◎10/9・◎3/7	7回
3	学校などとの連絡会	4/10 (伊勢原小校長/教頭挨拶) 4/24 (比々多小学校長挨拶)	
4	運営委員会	伊勢原学区 (伊勢原1、2) 6/20 比々多学区 (比々多1、2) 6/21	2回
5	保護者会	伊勢原1 7/6 伊勢原2 7/6 比々多1 7/6 比々多2 7/6	4回
6	入所説明会	伊勢原1 3/22 伊勢原2 3/22 比々多1 3/22 比々多2 3/22	4回
7	全体支援員研修会	6/26 「折り紙教室」 2/20・22 「AED研修」	
8	ボランティア受け入れ *校外課外活動など	太鼓愛好会 (6)・読み聞かせ他 (1) マジック2団体 (6)・俳句 (1)・陶芸教室 (1) 子ども科学館 (2)	17名
9	支援員健康診断実施	11月	29名
10	支援員応募者面談	3月9名(4)、7月6名(4)、10月1名(1)、 2月4名(2)、	採用 11名
11	その他	各児コミ 外出行事・室内行事 避難訓練に参加 4児コミ 長期休みに注文弁当を実施 保護者アンケート実施 11月 支援員の意向調査実施 1月	

こども支援事業（１） いせはらみらいクリルンこども食堂

1、趣旨

相対的貧困率は悪化しつづけており、2014年の厚生労働省の発表によると、16.3%であることが明らかになりました。教育格差、貧困の連鎖が広がっています。生活保護を受けている、もしくは、年収が生活保護費とかわらないワーキングプアの家庭で育つ子どもが、6人に1人いるのです。地域の子どもを、地域が見守り、学びや暮らしを有機的に支えるネットワークをつくり、子どもの未来を明るく変えていきたいと願っています。

現在、子供の6人に1人は貧困家庭にあると言われています。家計が苦しくて十分な食事がとれない子。家庭の事情で夕食は一人、コンビニ弁当やインスタントもので済ませてしまう子。心と体を育むはずの「食」が揺らいでいます。こうした状況の中、食の面から子ども支援に平成28年度に立ち上げました。

<活動報告>

子どもを中心に、みんなでご飯を提供し一人ひとりが「人との繋がり」コミュニティの場として約3年を迎えます。県外や地域の方々のご支援ご協力のお陰です。スタッフ全員がボランティアで調理後、子どもや高齢者の話し相手になったり、若い世代の親子づれには、おばちゃんたちが作る家庭料理を楽しんでくれて、利用者になくってはならない場所になっています。

- ◇開催数：23回(火・木曜日)月2回
- ◇スタッフ登録：30名（延420名）
- ◇ボランティア受け入れ：15件
- ◇献立打ち合わせ会議：11回
- ◇スタッフ交流会 1月10日(土) 参加25名

☆ こども食堂 天(sora) キッチン ☆

子どもたちが食材にふれ食育の大切を知る。調理を覚え自分で出来る喜びを味わう。皆と一緒に楽しく食する。

- 開催日：2月24日(日) 11時～15時
- 参加者：小1～高2(13名) 指導 庄司歴人
- 参加費：無料
- 場 所：割烹料理 天(sora)

<協力>

- ◇食材提供者：(延135件)
- ☆生活協同組合ユコープ・フードバンク 月2回
- ☆フードバンク平塚 4回

<利用数>

月日	大人	こども	計
4/10	47	36	83
4/26	53	37	90
5/8	38	21	59
5/24	51	40	91
6/12	45	33	78
6/28	49	31	80
7/10	46	40	86
7/26	53	47	100
8/7	48	34	82
8/23	40	24	64
9/4	32	4	34
9/27	49	31	80
10/9	46	38	84
10/25	52	52	104
11/6	44	36	80
11/22	35	21	56
12/4	45	35	80
12/20	62	46	108
1/17	67	37	104
2/5	47	38	85
2/21	47	28	75
3/5	49	39	88
3/28	49	39	88
23回	1,094	785	1,879

子育て支援事業（２） 学習サポートいせはら みらい・つなぐ

◇事業の主旨

生活が困窮している世帯の子ども他が適切に学習の習慣が送れるように支援する。
また、子どもや保護者が主体的に進路を考え、選択できるよう支援するとともに、子ども及びその世帯の課題を整理し、学習習慣づくり等を通して、子どもの社会的自立を支援する。

◇目的：

学習支援サポート事業は「学習支援」「子どもの居場所」「保護者相談」を柱として進める。

◇伊勢原市子ども学習習慣づくり支援事業委託の一部（火曜日）受託。

◇学 年：小学5、6年生・中学生 ◇実施日：週2回（火、金）

◇実施場所：いせはら市民サポートセンター

<活動報告>

参加者一人ひとりの状況に合わせた個別支援を実施し、基本的な学力を身につけるとともに、自分の居場所を実感できるよう配慮した。生徒登録数（46名）

◇サポーター： 教員OB(3名)、一般(3名)、大学生(36名)

◇開設数： 91回 火曜日（46回）金曜日（45回）（サポーター延べ数 1043名）

◇進 学： 私立高校3名・県立高校6名・定時制高3名

◇相談他： 15件 ◇見 学： 4件

◇その他：① 8/28 夏休みお楽しみ会（39名）② 12/25 クリスマス会（65名）

③ 3/26 小学6年・中学3年卒業祝う会（70名）

◇伊勢原ときわ堂から文具一式贈られる。

◇イオン幸せのレシートキャンペーン

(開催日)

	回数	小5	小6	中1	中2	中3	高校他	参加数
4月	6	0	30(7)	9(4)	25(5)	22(7)	7(3)	93
5月	7	7(1)	34(7)	15(5)	29(5)	31(8)	14(3)	130
6月	8	8(1)	39(7)	16(5)	38(5)	29(8)	15(4)	145
7月	8	7(1)	37(8)	19(5)	34(5)	30(8)	13(5)	140
8月	8	7(1)	30(8)	10(5)	28(5)	40(11)	9(6)	124
9月	8	6(1)	32(8)	15(5)	30(5)	35(12)	5(6)	123
10月	8	7(1)	34(8)	14(5)	42(7)	33(12)	8(6)	138
11月	8	7(1)	37(9)	15(5)	37(7)	48(12)	6(6)	150
12月	8	7(1)	36(10)	15(5)	38(7)	43(12)	10(6)	149
1月	7	7(1)	30(10)	12(5)	31(7)	41(12)	14(7)	135
2月	7	7(1)	33(10)	11(5)	37(7)	26(12)	13(9)	127
3月	8	7(1)	37(10)	12(5)	39(7)	39(12)	10(9)	144
回数	91	77	409	163	408	417	124	1508

□（ ）人数

□ 高校他は卒業して参加し、就職してから相談にきたりしている数

平成30年度 児童コミュニティクラブ活動報告

今年度も児コミを利用している子ども達が、異年齢児の集団の中で健康で明るく楽しく過ごせるように、常に安全で安心な環境を整え、児童の健全な育成と福祉を心がけました。

- 伊勢原1、伊勢原2、比々多1、比々多2の4児コミの運営を行いました。
- 30年度の利用児童数225名（30年4月1日現在）でした。

	伊勢原1	伊勢原2	比々多1	比々多2	計
支援員数	10	6	9	6	31名
児童定員数	80	40	80	50	250名
30年4月1日	81	24	79	41	225名
31年3月31日	68	17	67	38	190名

30年度児童の活動

放課後の日課に基づく活動の中で、毎月の誕生会、学期末のお楽しみ会と季節感漂う伝承行事（夏祭り、七夕さま、スイカ割り、ハロウィン、月見、初詣、ひな祭りなど）、編み物、読書、茶道体験、卓球、将棋。

送迎バスを利用したのボーリング場に（2児コミ）、徒歩で地元のボーリング場に（2児コミ）。

その他 ボランティアによる、マジック、ともだち座公演、本の読み聞かせ・俳句など各々の児コミ毎に活動。定期的に避難訓練、公園清掃等も実施。

その他

- ◆ 保護者会 7月6日、運営委員会6月20/21日
入所説明会3月22日行う。
- ◆ 保護者アンケートを11月に実施。
- ◆ 支援員の意向調査を1月に実施。
- ◆ 支援員の健康診断・全体研修を実施。
- ◆ 長期休みには就労支援（子育て支援）の一環として、昼食（注文弁当の他夏休みにはサンドイッチ等を取り入れた。）
- ◆ おやつに、市内のパン屋さんの協力を得て、週1回手づくりパンを導入。
- ◆ 児童の安全の確認の為に、ヒヤリハット（ヒヤッとしたり、ハッとした児童の動き）の記録を日誌に記入した。
- ◆ いせはら未来っ子クラブ（市放課後子ども教室）との交流
（12/5・1/23）計2回
- ◆ ジュニアバレーボールクラブとの交流 （12/19）

□4児コミを運営するようになって、12年が経過しました。

学校・保育園の皆様のご支援と従事する支援員の工夫や努力により、児童が楽しく豊かな生活体験が出来る場所になるよう努めました。

地域から子どもたちの声が騒音に聞こえて生活に支障をきたしているとの苦情もありますが、遊び時間の工夫などして支援員さんは努力しています。